



## 事業名 丹波篠山国際博 日本の美しい農村、未来へ



### ロゴマークについて

農村の星、丹波篠山  
丹波篠山には、美しい農村の風景をはじめ歴史、文化、自然、農産品、工芸品や祭りなど、たくさんの「美しさ」があります。  
その「美しさ」を守り、次世代へつなぐための営みを日々続ける人々がいます。「美しさ」を未来へ受け継ぎ、さらに輝く丹波篠山へと思いを込めました。



### 取組の概要

#### (1) 主催

丹波篠山市、丹波篠山国際博実行委員会

#### (2) 会期

令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)、1年間

#### (3) 会場

丹波篠山市内全域

#### (4) コンセプト

食の聖地、農の都を未来へ  
文化芸術、創造農村を未来へ  
生物共生、自然環境を未来へ  
四季折々、美しい景観を未来へ  
市民の力、丹波篠山ブランドを世界へ

## 国際博開催へのきっかけ



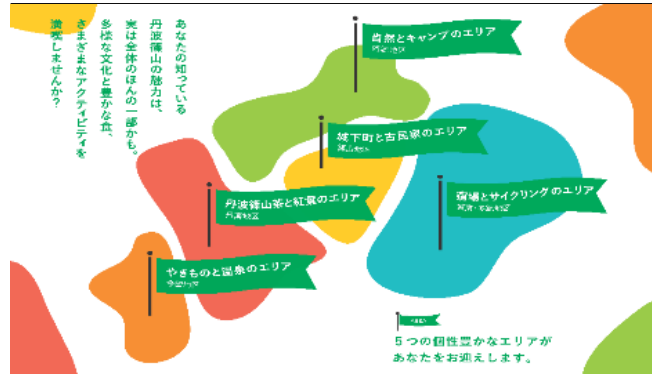
きっかけは2025年に開催される「大阪・関西万博」を機に、ユネスコ創造都市である丹波篠山を広く知ってもらい、国際交流を深めたいという議員提案からです。

2023年8月に丹波篠山国際博推進市民委員会を設立しました。1月11日現在、自治会やまちづくり協議会、市民団体、事業所など約180団体が所属しています。

国内外から多くの観光客を呼び込み、1年を通して世界に誇れるわが市の魅力を知ってもらおうと開催する運びになりました。

持続的な観光客の誘客や市のブランド力のさらなる向上につなげ、市民の皆さんにも自分たちは世界に誇れる素晴らしい資源に恵まれたまちに住んでいるということを再認識いただき、オール市民参加で持続的な地域の発展を目的に取り組んで行くため、開催への準備を進めています。

## 開催まであと1年(プレ事業)



パビリオンは農村。アトラクションは地域文化。特別なことや、一過性のことをやらずとも丹波篠山には世界に誇るものがたくさんあります。

町並みや食を楽しんでもらい、祭りや農業・焼き物の体験など、素晴らしい資源を国内外に発信します。

また、市内全体を周遊してもらえるように、焼き物と温泉のエリア(今田地区)、丹波篠山茶と紅葉のエリア(丹南地区)、自然とキャンプエリア(西紀地区)、城下町と古民家のエリア(篠山地区)、宿場とサイクリングエリア(城東・多紀地区)など、エリアごとの特色を明確にし、丹波篠山でしか味わえない魅力を楽しんでもらおうという案も出ています。

開催に向けてあと1年、体験やおもてなしなどプログラムの磨き上げ、国内外の方に認知していただくための告知宣伝、並びに本番に向けてプレ事業や実証事業などに取り組みます。

## 日本の美しい農村、未来へ



国際博開催の目的は、国内外から多くの方に越えいただき「日本の宝石箱 丹波篠山市」のファンとなり、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口増加へ、そして新しいライフスタイルや移住定住推進へのきっかけにつなげていきたいと考えています。そのために、6つの専門部会を設けて未来につなげる取組等について検討しています。

【祭礼・催事】心トキメキ部会

【環境・農林】自然の恵み部会

【地域づくり】長〜いおつき合い部会

【文化・工芸】クリエイティブ部会

【商工振興】がっちりエブリデイ部会

【交通・観光・宿泊】一度来たら二度三度部会

市民の力は、まちの力。オール丹波篠山、官民一体となり準備します。

